

上越市立柿崎中学校だより 令和5年1月20日発行



第9号

せいしゅんふたたびきたらす
青春不再来

柿崎区法音寺 392-1 TEL:536-2496 <http://www.kakizaki-j.jorne.ed.jp/>

「青春不再来」は、大廊下に掲げられている木彫の言葉です。

「学習、生徒会、部活動などに、生徒は一生懸命です。悩んでいる生徒もいます。でも、どの生徒も、かけがえのない中学校生活を精一杯生きている。」という意味です。

「部活動の段階的地域移行」について

校長 大塚 啓



新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。今年はうさぎ年ですね。ぴょんぴょん跳ねるウサギは飛躍の象徴です。柿中生徒も、自分らしく生き生きと、気持ちを新たに、自分のよさを一層伸ばしてほしいと願っております。

さて、今回は、令和5年度以降の中学校の部活動のことについて述べさせていただきます。

部活動は、長年の間、学校の教員が顧問となり、学校教育の一環として行われてきました。体力や技能の向上を目指しながらも、異年齢との交流の中で生徒同士や生徒と教員との望ましい人間関係を築き、自己肯定感、責任感、連帯感などを育ててきました。また、学習とは違う面で自分のよさを發揮する、大切な学びの場ともなってきました。

しかし、少子化が進む中、学校の教員数も減少してきており、柿中も、かつて大勢の生徒が通っていた時代と同様の体制で部活動を運営することができず、設置数を減らしたり、部活動指導員や保護者のサポートをいただいたりしながら対応している現状があります。そのような状況の中、近年、学校によっては、「大会に参加したいが団体種目の人数がそろわない」「生徒のやりたい競技の部活動が設置されていない」など、様々な問題点が指摘されるようになってきました。

今後、生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動を維持していくためには、学校と地域との連携・協働により、生徒や保護者の負担に配慮しつつ、持続可能な活動環境を整備する必要があります。令和2年には、スポーツ庁や文化庁が、専門家による検討会議を経て、「令和5年度以降に、休日（土日、祝日）の部活動について段階的に地域移行を図る」方針を決定しました。

これに伴い、令和5年度から、中学校体育連盟の主催する大会（上越地区大会や県大会、新人大会など）は、地域スポーツクラブも参加できるように参加資格が変更となりました。（詳しいことは、[新潟県中学校体育連盟ホームページ](#) や [柿中の説明プレゼン](#) をご覧ください）今後、実際の運用にあたっては、様々な問題点が出てくる可能性がありますが、市当局、中学校体育連盟、学校、地域が協議しながら、課題を一つ一つクリアし、部活動の段階的な地域移行を少しづつ前に進めていきたいと考えております。



地域、保護者の皆様方のご理解と格段のご協力をよろしくお願ひいたします。



QRコード

[新潟県中学校体育連盟 HP](#)



QRコード

[柿中の説明プレゼン](#)

生活アンケートで振り返る 「柿中のグランドデザイン」

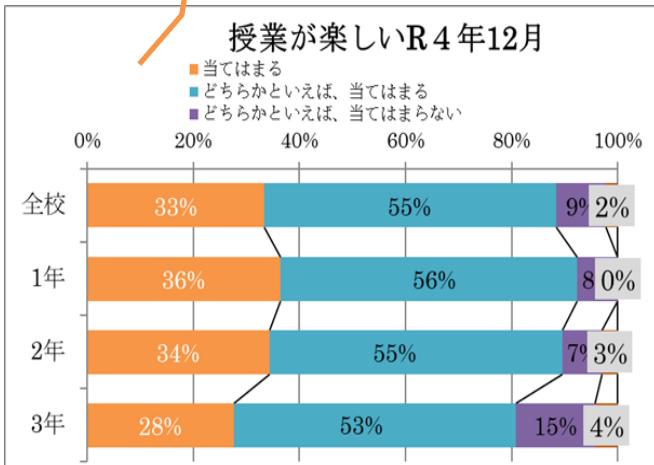
R4年12月実施の
生徒アンケートの結果から

学びづくり

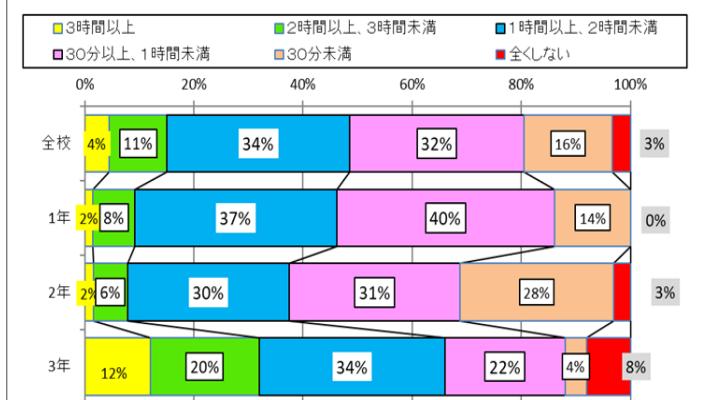
目標

- 「毎日1時間以上家庭学習を行う」 8割以上
- 「柿中学習の姿」の達成状況に関する生徒アンケートで、肯定的評価8割以上

グラフは、回答項目の左上から順に表しています。



1日当たりの平均学習時間 R4年12月



心づくり

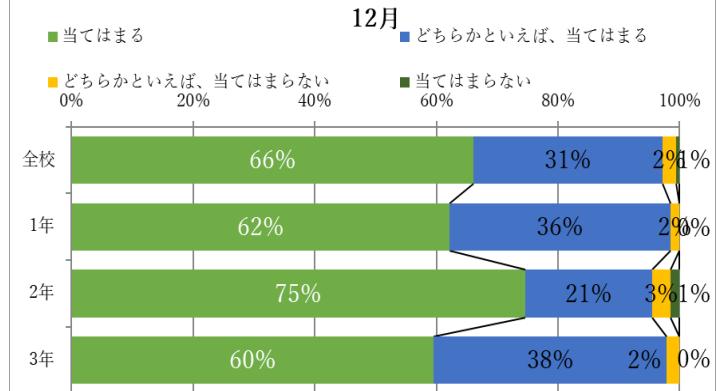
目標

- 「学校が楽しい」と回答する生徒8割以上
- 『差別をしない、させない、負けない』という気持ちをもつことができると肯定的な回答をする生徒が8割以上

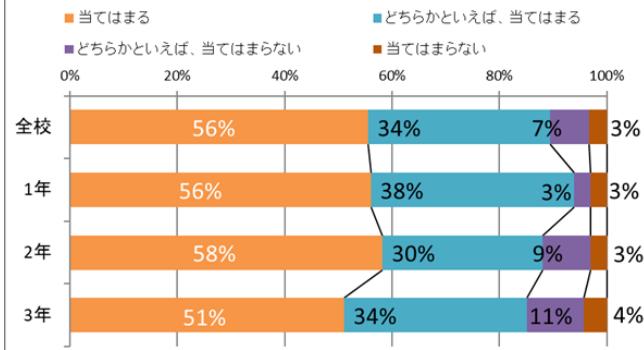
<成果と課題>

- 「授業が楽しい」と肯定的な回答をした生徒は88%で、前期の85%と比較しても、よい評価を付けています。このまま、生徒が興味をもてる授業内容に取り組んでまいります。
 - 「毎日1時間以上家庭学習を行う」生徒は49%で、前期と同じ割合でした。しかし3年生は+25ポイント大幅に増えたのに対し、1・2年生は逆にポイントを下げています。受験が目の前にぶら下がってから始める傾向がとても強く、当校の大きな課題です。
 - 「柿中学習の姿」(5ルール)の達成を目指して努力している生徒の割合は95%を超えていました。学習規律を守り、真剣に学びに向かう姿が継続できています。
- ☆各教科・学年から、できるだけ毎日課題を提示しますが、それだけを行うのではなく、自らの課題を見つけて、進んで取り組んでほしいと考えています。

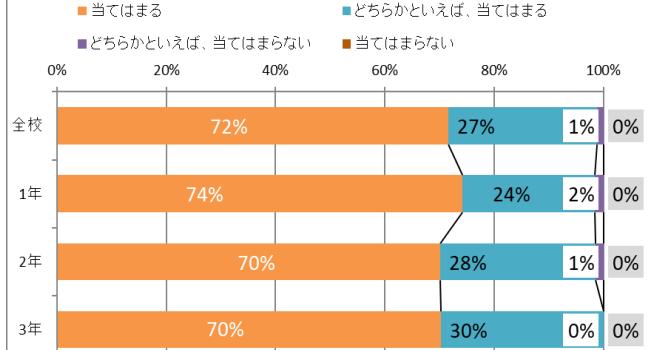
自分では「5ルール」の達成に向け努力しているR4年

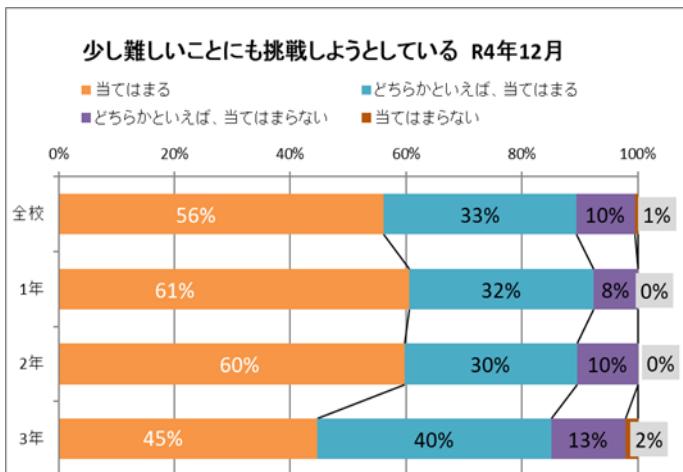


学校が楽しい R4年12月



差別をしない、させない、負けない気持ちをもつ R4年12月





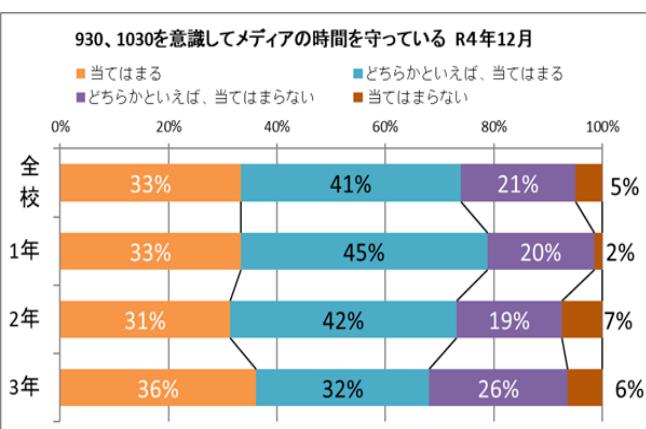
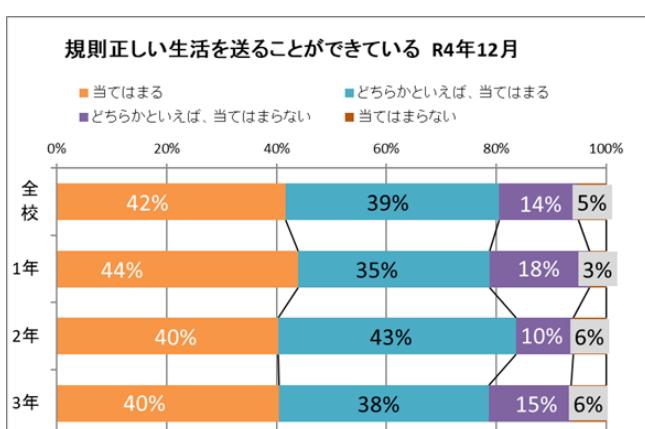
＜成果と課題＞

- 「学校が楽しい」と肯定的な回答をした生徒は90%でした。高い水準ではありますが、全ての生徒が「楽しい」と、やりがいをもって活動できる学校づくりを目指します。
 - 今年も「差別をしないさせない負けない気持ちをもつことができている」に肯定的な回答をした生徒が、全体で98%です。高い意識に行動が伴うよう取組を続けていきます。
- ☆卒業・進級に向け、学習・生徒会・学級など様々な場面で、自己有用感を高める活動を続けていきます。

身体づくり

目標

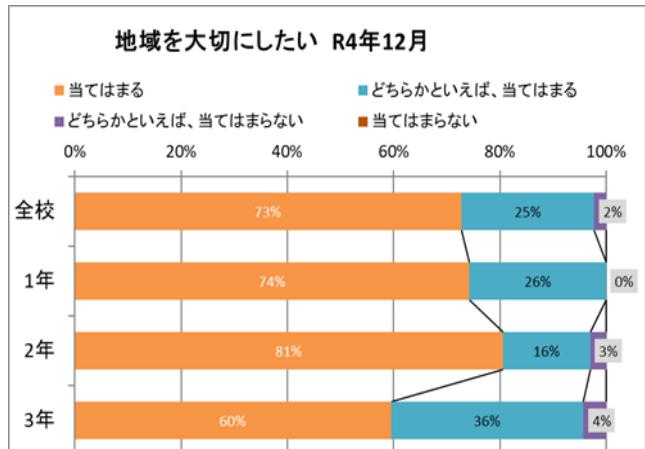
- 「規則正しい生活を送るよう心掛けている」と肯定的に回答する生徒が8割以上
- 「メディアは時間を守って使用している」と肯定的に回答する生徒が8割以上



＜成果と課題＞

- 「規則正しい生活を送ることができている」に肯定的な回答をした生徒は81%でした。前期と比べて僅かですが全体的に上がっています。引き続き指導を強化してまいります。ご家庭でもご支援お願ひいたします。
 - メディアの時間について守っているとした生徒は74%です。こちらは前期と比べてほぼ同一です。メディアといかに適切に付き合えるか、大きな課題です。
- ☆「SNS終了時刻を午後9：30まで、テレビ・パソコン終了時刻午後10：30まで」の呼び掛け・実態調査を生徒会が中心になって行い、生活習慣の向上を図る取組を継続していきます。

地域とのかかわり



- 地域を大切にしたいと肯定的に評価した生徒の割合は継続して高い水準にあります。

☆令和4年度は、生徒会活動でも地域貢献活動に力を入れました。コロナ感染症の終息を願い、これからも地域と歩む柿崎中学校を目指していきます。

全校ダンス授業発表会

12月20日(火)に「ダンス授業発表会」を行いました。体育のダンス授業では、昨年度から講師として渡邊翔太様から指導をいただいており、生徒のダンスの技量が格段に向上了きました。学年別に楽曲が指定されている中で、オリジナリティー溢れるダンスを披露し、班ごとに工夫している様子がうかがえました。講師の先生からは、「どの生徒も一生懸命に練習していて、全学年レベルの高いダンスに仕上がっている」と高評価をいただきました。



令和5年度 生徒会三役が決まりました

12月23日(金)に令和5年度の生徒会三役の任命式が行われました。緊張の中にもやる気満ちた三人から、意気込みを語ってもらいました。

生徒会 会長 山賀 陽太さん

私は「一笑懸命」をスローガンに、柿中生全員が毎日笑顔で過ごせる学校を目指します。今までの柿中の伝統を引き継ぎ、みんなの笑顔が少しでも増えるように、よりよい生徒会、よりよい柿中を創ります。例えば、体育祭では全校生徒にアンケートを取り、企画・運営をしていきます。また、誰もが委員会への要望ができるように意見箱を設置し、各委員会で協議して活性化させていきます。全校をよりよくするために、全力で頑張ります。

生徒会 副会長 丸田 蒼斗さん

私が目指す柿崎中は「One For All , All For One ～一人はみんなのために、みんなは柿中のために～」です。私は、いじめをなくし、お互いを思いやり、尊重し、一人一人が過ごしやすい柿中を創れるように頑張ります。具体的には、月に一回「心の悩みアンケート」を実施し、いじめにつながる問題を未然防止していきます。また、学校全体で授業5ルールの達成を増やす取組を行い、みんなで協力する学級を目指します。

生徒会 副会長 山本 結月さん

私が目指す柿崎中は「笑顔凜輪」です。全校生徒一人一人が「当たり前のことを当たり前にでき、笑顔あふれる学校」を創ります。そのためには、授業5ルールの強化をします。授業で当たり前のことができれば、内容が分かるようになり、笑顔があふれる学校になると思います。毎月学級ごとの集計を行い、結果を報告するだけでなく、改善点について学級で話し合うことで、より高いレベルの授業を目指します。